

ワイドカラーで甦る

# 平凡社ギャラリー

日本の美・東洋の心



【最新刊】

## 14 中尊寺

●大岡實 僻遠の地に絢爛と花開いた平泉文化——平安朝末期の雰囲気を見つめる独自の寺宝の数々。

## 15 洛中洛外図

●花田清輝 詳細な画面に、京都の四季、風俗が描かれ、見る者の想像力を刺激する。

既刊15冊 ●発売中

- 1 宗達 加藤周一
- 2 織部 加藤唐九郎
- 3 十二面観音 井上靖
- 4 南蛮屏風 大岡信
- 5 文楽 瀬戸内晴美
- 6 写楽 瀬木慎一
- 7 劉生 粟津則雄
- 8 伊勢神宮 川添登
- 9 豊後の石仏 木村重信
- 10 かきつばた光琳 水尾比呂志
- 11 若冲 利根山光人
- 12 縄文土器 針生一郎
- 13 阿修羅 今泉篤男
- B4変型判 35.5×26.5cm カラー16頁・本文8頁・総24頁 ●各480円



ロバート・アードレイ

# アフリカ創世記

殺戮と闘争の人類史 1300円

徳田喜三郎・森本佳樹・伊沢紘生訳／サルからヒトへ——殺戮と闘争に血ぬられた人類の起源とその歩みを、習性学・人類学の最新の成果と大胆な仮説で描く一大叙事詩。欧米ベストセラーの全訳

筑摩書房刊

◎文藝春秋の本



田辺聖子

猫も杓子も

女の長風呂

続・正

騙し騙されまた騙し……なにわ女の意地賭けた恋人獲得大作戦。男女のモラルの最尖端を鮮かに捉え、明るく爽かに描く痛快長篇小説

●各6300円



井上ひさし

青葉繁れる

四十番の少年

母と別れ、東北の孤児院で一少年がおこした誘拐殺人事件——四十一番の名札に秘められた悲しい青春の光と影を描く表題作はか二篇

●5500円

東北一名門高校を舞台に劣等生クラスのお愁たちが巻き起す珍事件の数々を爆笑とベーンソで描く青春文学の快作。現代版坊っちゃん

●5300円

揺れ動く女心と女体との相関関係のこの不可思議さを、爽かな笑いと匂い立つ麗筆でアツケラカンとした粹談に昇華させた読物

●各6300円

身はクタクタ、心はポロポロ ああ、それでも敢然として  
この暗黒世相に挑む筒井康隆の魅力爆発！！



暗黒世界の  
オデッセイ

筒井康隆一人十人全集



地球をもへしゃぐヴァイオレンス。血も凍るクールタッチ。さあ、今こそ、胸ときめくこの暗黒世界への片道切符を手にしよう！ ミナト神戸を愛し、漫画を描き、ジャズを聴き、料理にウンチクを傾け、SFも書く……一人で十の顔をもつ怪紳士・筒井康隆の魅力を総集したバラエティ・ブック。著者自身の傑作漫画集、小林泰彦の神戸イラスト・マップ付。イラスト競演＝山藤章二、及川正通、鈴木翁二。表紙＝和田誠。

1300円

晶文社

東京都千代田区外神田2-1-12  
電話 255-4501

菩薩道入門

仏教徒及び青年学生必読の  
二十一世紀を迎える聖典

著者は妙法華の秘法によつて三昧を開き、  
仏陀の指導の下で二十年間実践した菩薩道  
の奥儀と世界観を初めて公開する。

法華法師 薫杰日子子著

上 巻・定価9800円  
中・下巻各予価9800円

如是  
我聞  
天帝の号令

上巻 信解の巻  
中巻 世間解の巻  
下巻 未来観の巻

日本は沈没しない。但し、我意に従えど……一大事の因縁……その約束を果す天の帝王の言葉がその終末を衝く……変造し捏造され誤解されている通説を糾す為に送る仏教徒の教科書。

主な内容

- 一、人間は核酸時代から人間である。
  - 二、脳髓臓器論と幻のノイロンと中枢の謎。
  - 三、靈魂その奇なるもの。
  - 四、マルクスにとつて科学はカリスマである。
  - 五、立身出世は悪魔道。
  - 六、天孫族の重大使命(天孫はヒマラヤから)。
  - 七、妙法華に捧げ尽した聖徳太子。
  - 八、幻の伝統・天皇家は天孫族にあらず。
  - 九、五濁の世界。
  - 十、自然には意志と目的がある。
- 二、シヤカに至る道。

発行所 現代研究会出版局

東京都世田谷区経堂5-32-11  
TEL03-429-2019

●好評増刷中につき店頭がない場合は直接発行所へ申し込んで下さい。

本格長篇書き下ろしシリーズ

当代随一の人気作家星新一が満を持して書き下ろした1300枚の一大長篇

星新一



# 祖父・小金井良精の記

明治、大正、昭和を生きてきた一人の学徒——明治維新前夜、越後長岡藩に生まれ、朝敵として少年時代を過し、

そして近代日本の激動を眺めながら「人類学」を創始した小金井良精の生涯——

祖父とその時代とそして著者星新一自身の少年時代への限りない愛着をこめて綴られた一〇五の短篇によって構成されたユニークな一大長篇小説——

定価1000円

芥川賞受賞作 月山 森 敦

みずから沈黙と流浪の人生を課した不羈の魂が、四十年の星霜の後に、へ死者の山▽月山の淵源に刻み上げた稀有の名篇。 780円

# 私生活主義批判

人間的自然の復権を求めて

田中義久

自然的欲望のおもむくままに営まれていくわれわれの「私生活」の内在的批判を通じて、国家権力に抵抗する自然権をその根底にすえた市民的精神の、日本における成立の可能性を追求した市民社会論かつ文明批判論。へ評論シリーズ 1300円

# 虚妄としての戦後

加賀乙彦

文学評論・文学的随想・ヨーロッパ紀行等を取めた最新エッセイ集。戦後社会の中に、戦時の自己の存在の証しを求める姿勢を貫く。 1200円

# アジアの姿の日本文学

竹内泰宏

日本の代表的な作家たちを論じながら、その作品がいかに「アジア的なもの」をつながりかつ対決しているかを分析したユニークな文学論。 1300円

評論シリーズ■好評の既刊

深層社会の点描

作田啓一 950円

遙かなノートル・ダム

森 有正 650円

美の終焉

水尾比呂志 800円

保守と革新の日本の構造

伊東光晴 800円

政治の論理と市民

高島通敏 950円

現代日本の心情と論理

見田宗介 850円

日本の都市問題

宮本憲一 680円

孤立の憂愁の中で

高橋和巳 650円

死にがいの喪失

井上 俊 950円

序破急急

塚本邦雄 900円

望郷と海

石原吉郎 900円

東京都千代田区神田小川町 101/振替口座・東京4123

筑摩書房

東京都千代田区神田小川町3-6 〒101 振替東京10802/TEL 292-3711

河出書房新社

筑摩書房 東京神田小川町  
郵便番号 101

# 鼎談 人類は滅びるか

今西錦司・川喜田二郎・小松左京

大気・海水の汚染等々、自然界の安定した状態はいたるところで破壊されつつある。人類の存亡にかかわるこの緊急の問題を生物学・人類学・生態学の立場から考察する。 600円

# 曠野から

—アフリカで考える—

川田順造

西アフリカの国オート・ヴォルタに滞在する人類学者の眼が捉えた曠野に生きつづける自然と人間、暮しと風俗。美しい文章の行間から著者は、文化とは、進歩とは何なのかを大きなスケールで着実に問いかけている。 850円



まず最初に、戦時下の青春と現代の青春として林尹夫の「わがいのち月明に燃ゆ」、以下、現代の学生運動」として高野悦子の「二十歳の原点」、個人の自由」として浮谷東次郎の「俺様の宝石さ」、差別のなかの青春」として福本まり子の「悲濤」、愛」として有田俱子の「愛すれど愛は悲し」という、五人の若くして断たれた青春の遺書を取りあげ、現代における青春とは何か、彼らを死に追いやったものが何であるかを、著者は考えようとしている。

林尹夫は戦争中、いわゆる学徒出陣で出征して、戦争の不合理を透徹した目で見つめながら戦死。高野悦子は数年前のいわゆる全共闘運動の中で、自己への徹底的な誠実を求めて自殺。浮谷東次郎はスピードにける優秀なレーサーであると同時に、豊かな才能を持ち、自分で大学を作りたいという大きな夢を持ちながら、練習中に車の前に現れた人影を避けようとして事故死。福本まり子は、被差別部落の出身であるということと恋愛にやぶれ、解放運動に生きがいを見出そうとしながら、鬱病からくる絶望感に耐えずして自殺。有田俱子は、めぐまれた環境に育ちながら、ひとすじに愛して結婚した夫に裏切られ、結核のために

## 青春の遺書

真継伸彦

筑摩書房・刊\*680円



病死する。

以上のような死によって、この若者たちはその青春を断ったのであるが、戦死、自殺、事故死、病死のうち、戦死は今の若者たちには直接縁がないとしても、あとの三つは、いわば青年たちが、いつの時代にも絶えずその危険にさらされている死である。しかし著者は、このようないたましい死を前にして、そこに永遠の問題としての青春よりも、特に現代の青春の問題を見ようとする。つまり「二七の権威の崩壊」という精神の地震が、戦後の我国にはずつとつづいている」という戦後状況の中で、権威に依存しがちな弱い人間、特に青年が、そこでどのような苦しい生き方を強いられるか、を見ようとするのである。

著者は必ずしも現代の青春を楽観してはいないが、これらの死の中に、むしろ青春のあるべき姿を見出して、青年たちを励ませようとし、このような若者たちの生き方を理解しようとならない大人たちを問責しているように思われる。

(中国新聞・48年9月19日)